

福祉施設での採用実績多数！
高齢者福祉施設関係者の声から誕生した
残紙生まれの高齢者向けレクリエーションキット第2弾

紙野工作 紙野ぬり絵 紙野はり絵

高齢者福祉施設への販売から2ヶ月余り、成長を遂げた第2弾が
2023年10月5日(木)より大風印刷本社または通販サイトで販売開始

株式会社大風印刷(山形市蔵王松ヶ丘／代表取締役 大風亨)は、高齢者福祉施設職員のレクリエーションに係る負担の軽減と、利用される高齢者に充実した毎日の提供と同時に、当社の印刷工程で生じる年間20トにもおよぶ「残紙」の有効活用を実現する、「環境」と「福祉」に優しい残紙生まれの高齢者向けレクリエーションキット第2弾となります。「紙野工作(かみのこうさく)“秋の味覚”つるし飾り」「紙野ぬり絵(かみのぬりえ)山形秋の風物詩【いも煮】・秋の山形【りんどう】」「紙野はり絵(かみのはりえ)色彩の風景 秋の山形」を2023年10月5日(木)より、大風印刷本社または通販サイト「よってける YAMAGATA」で販売を開始いたします。



■「紙野工作」「紙野ぬり絵」「紙野はり絵」第2弾を始める背景

地域の高齢者福祉施設関係者や利用する高齢者が抱えている課題に触れる機会がありました。その中で、施設を利用する高齢者やその家族がそこでの生活に「充実」や「生きがい」を求めることは必然である一方、施設側は提供するレクリエーションの企画や運営について「考える時間的余裕がない」「アイデアが固定化してしまう」などの課題が多く存在することがわかりました。

当社は、総合印刷業という業態の特性上、印刷工程で生じる「残紙」が年間約20トにもおよび、それを「カミ愛好家」と銘打ち残紙の販売を行ってまいりました。一方では、自社で情報誌の発刊や、近年はラーメン店で特典が受けられるキーホルダーをカプセルトイとして販売する「メン愛好家」など「地域課題」を解決する商品やサービスの拡充に努め、「デザイン」や「企画」といったクリエイティブが得意な社員が多いことから、それら自社の強みを活かし、高齢者福祉施設の課題と自社の課題を同時解消できればと考えます。

■さらなる進化を遂げた第2弾

「紙野工作」は、第1弾の平面から、今回は立体へと変化し、より達成感を満たされればと考えます。多少、難易度は上がりますが、かかる時間を同程度になるよう、工程を簡略化しました。立体物になることで、より考えて手を動かして工作を行う様になります。同じく、「紙野ぬり絵」は山形ならではのイラストを描き下ろし、高齢者が昔を思い出しながら塗ること、「紙野はり絵」は紙をちぎって貼る手先の細かい運動することで、3兄弟全てが脳に働きかけられる商品であればと考えます。また、第1弾同様、季節感を感じながら楽しんでいただけるよう、秋らしいものとなっています。

■手軽に始められるキットが使用するシーンを選ばない

地域の高齢者福祉施設関係者や利用する高齢者の声から誕生しましたレクリエーションキットですが、障がい者福祉施設からの引き合いやコミュニティセンターで開催されていますいきいきサロンへの導入など、想定していなかったシーンでの採用も見られるなど、使用するシーンを選ばないものへと成長を遂げています。今後は放課後学童クラブなどのイベントや小学校低学年の学年行事などへの採用も視野に入れていきます。



■「紙野工作」「紙野ぬり絵」「紙野はり絵」の概要

- ① 紙野工作 “秋の味覚”つるし飾り 440円/個(税込)
あらかじめカットされた飾りつけ用パーツを貼り付けて紐を通すと秋のつるし飾りが完成。
- ② 紙野ぬり絵 山形秋の風物詩【いも煮】・秋の山形【りんどう】 330円/個(税込)
山形の秋模様を描き下ろした絵を好きな色で。紙の質感の違いをお楽しみください。
- ③ 紙野はり絵 色彩の風景 秋の山形 440円/個(税込)
指先を使って紙をちぎって貼ることで脳が活性化されます。

＝ 本件に関するお問い合わせ先 ＝

株式会社 大風印刷 山形市蔵王松ヶ丘 1-2-6

広報窓口： 取締役 倉田誠 企画： ビジネスデザイン部 加藤憲二 ・ 生産部 渋谷恵

TEL: 023-689-1111 Mail: kurata@okaze.co.jp

URL <https://www.okaze.co.jp/>

ぜひ、貴媒体でお取り扱い頂けますようお願い申し上げます。

当社販売コーナーで現物をご覧いただけます。

また当社および導入福祉施設への取材も可能です。お気軽にお問い合わせ下さい。